

V

授業づくり研究グループ

「主体的・対話的で深い学び」に迫る授業づくり  
～カリキュラム・マネジメントを取り入れた教材～

<研究員>

吹田第六小学校	教 諭	山田 忍
千里第一小学校	教 諭	渡部 肇
佐竹台小学校	教 諭	齋五澤 理陽
高野台小学校	教 諭	栢本 脩平
第一中学校	教 諭	奥本 直己
西山田中学校	教 諭	小林 重信

<スーパーバイザー>

大阪教育大学	教 授	木原 俊行
--------	-----	-------

## 1. はじめに

人工知能（AI）や IoT の進展により、今や世界の社会構造は大きな転換期を迎えています。予測困難な社会を生きていく子供たちに、新学習指導要領では、これまでの知識・技能に加えて、主体性や思考力などの汎用性のある資質・能力の育成を示しています。

本研究グループにおいては、新学習指導要領で求められる、資質・能力を育むために、各教科等の学習とともに、教科横断的な視点で学習を成り立たせていくことを目的として、市内に先駆けてカリキュラム・マネジメントの授業実践を行いました。

新学習指導要領においては、授業の在り方を見直すために、カリキュラム・マネジメントについて3点示されています。

- (1) 教科横断的な視点で教育課程を編成する。
  - (2) 教育内容の質の向上のためにPDCAサイクルを確立する。
  - (3) 教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等（地域等の外部の資源も含む）を活用する。
- 授業実践にあたり、(1)教科横断的な視点で教育課程の編成を行い、(2)教育実践の質の向上のためにPDCAサイクルを確立することに着目し、実践を行うことにしました。

## 2. 研究主題及び目的

### (1) 研究主題

「主体的・対話的で深い学び」に迫る授業づくり  
～カリキュラム・マネジメントを取り入れた教材～

### (2) 目的

授業づくり研究グループでは、主体的・対話的で深い学びに迫る授業について考えた時に、主体的な学びや対話的な学びについては比較的活動をイメージしやすいですが、深い学びに迫る授業と言われても具体的なイメージが持ちにくいことから、「深い学び」を具体的に提案できる授業づくりを研究の主題とし、研究活動を進めることにしました。

研究2年目にあたる令和元年度は、カリキュラム・マネジメントを取り入れた授業教材づくりに焦点を当てて研究を進めました。

研究にあたっては、主体的・対話的で深い学びを本グループでは以下のように定義し、その中の「深い学び」に注目して研究を進めました。

### (3) 定義

主体的：実験・観察やレポート・論述など、知識や技能を汎用的に生かせる学習場面（縦断的・横断的に）

対話的：ペアやグループ活動の重視、ジグソー法などを活用した交流等

深い学び：魅力ある対象がある、多面的に（比較）検討ができる、工夫して表現する、学びが繰り返される

「深い学び」のポイントは、解が1つとは限らない、トライ&エラーが繰り返される学びである

と考え、研究1年目は次の2点を研究の柱として実践を重ねました。

② 1単位時間だけで資質・能力の育成を図るのではなく、単元全体を通して育成する。

② 日常や生活場面に即したパフォーマンス課題を設定し、実践する。

そして、研究2年目にあたる今年度は、さらに「深い学び」を実現するため、カリキュラム・マネジメントの視点に立ち、教科や単元、学年を横断した単元計画を作成するとともに、教材の開発、授業の実践を行うことにしました。

### 3. 令和元年度 研究活動経過

#### 研究グループ活動経過

★：SVに来ていただいた日

回	月日	曜日	時間	SV	内容
第1回	5月24日	金	16:30		・研究グループ総会・研究員委嘱 ・年間計画作成
第2回	6月4日	火	16:30	★	・カリキュラム・マネジメントとは (SV講義) ・計画作成
第3回	6月25日	火	16:30		・SVの講義を受け各自カリキュラム・マネジメントの活用を踏まえた単元計画を作成
第4回	7月26日	金	14:00		・各自作成した単元計画の検討と協議
第5回	7月31日	水	14:00	★	・SVに作成した単元計画案のプレゼンを行い、指導助言をいただく
第6回	8月29日	木	16:30	★	・SVに作成した指導案のプレゼンを行い、指導助言いただく ・各研究員発表後意見交流を行う
第7回	10月4日	金	16:30		・指導案検討
第8回	10月8日	火	14:30	★	西山田中学校小林研究員による授業公開、研究協議、SVによる講話 ※研究員は可能な限り見学に行く

第9回	10月21日	月	14:20	★	第一中学校奥本研究員による市内公開授業、参加者による研究協議、SVによる講話
第10回	11月15日	金	14:35	★	吹田第六小学校山田研究員による市内公開授業、参加者による研究協議、SVによる講話
第11回	11月28日	木	16:30		・研究報告会に向け、1年間の成果と課題をまとめて報告資料を作成する
第12回	1月24日	金	16:30		報告会資料作成、リハーサル
第13回	1月29日	水	14:00		研究報告会（夢つながり未来館） ・報告発表を行う

#### 4. 研究内容及び発信

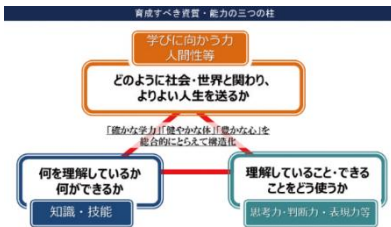
##### (1) 研究内容について

今年度本研究グループで焦点化したカリキュラム・マネジメントについて、『文部科学省「4 学習指導要領の理念を実現するために必要な方策」』では、「学校教育の目的や目標を達成するために、教育の内容を子供の心身の発達に応じ、授業時間数との関連において総合的に組織した学校の教育計画であり、各学校は、子供たちの姿や地域の実状等を踏まえて、学校教育目標を実現するために、学習指導要領等に基づき教育課程を編成し、それを実施・評価し改善していくことが求められる。」と述べられています。

そこで、研究を進めるにあたり、「学校教育目標」「子供の実態」「育成を目指す資質能力」などが簡潔に記せ、研究員の授業計画のイメージを共有しやすくするために、検討資料として資料1「令和元年度『授業づくり研究グループ』カリキュラム・マネジメント計画書」を作成し、活用することにしました。※資料1は検討の過程を紹介する資料であり、実施した授業内容とは異なります。

令和元年度『授業づくり研究グループ』  
カリキュラム・マネジメント計画書（案）

1. 所属・氏名	吹田市立高野台小学校 栢本 脩平
2. 学校教育目標	高野台小学校の児童としての誇りを持たせ、一人ひとりの特性を生かし、調和のとれた人間形成を目指す。 1、自主的精神に満ちた子どもの育成 2、明るい素直な子供の育成 3、人間の尊さを自覚し、生命を大切にする子どもの育成 4、我慢強く、深く考える子供の育成 5、力を合わせ、すすんで働き責任を果たす子どもの育成
3. 子供の実態 (つきたい力)	・根拠を持って説得力ある発言をしたり、順序立てて相手に伝わりやすい文章を書いたりと学習を積み重ねてきているので、今まで学んできたことをいかして、自分の考えを表現できるようにしたい。
4. 「重点単元名」(教科)	「政治への参加について話し合おう」(社会) 「未来がよりよくあるために」(国語)
5. 重点単元においてつきたい力・期待できる効果	<p>前時までに、政治と暮らしのつながりや、日本国憲法について学び、政治の進め方を決める権利を国民が持っている国民主権について学ぶ。学習したことをいかし、この単元では自分と政治のかかわりについて考える。しかし、「選挙」自体は、子どもたちにとって、リアリティがなく、「主体的な学び」にしていくためには工夫が必要である。投票率の変化や年齢別の投票率を調べたり、意見を聞き合ったりする中で、考えを深めながら、社会や政治に対する関心を高め、自ら社会に参画していく態度を育てたい。</p> <p>既に、算数「資料の調べ方」では資料の傾向を読みとるだけでなく、統計的に考察すること、国語「未来がよりよくあるために」では、意見を聞き合って考えを深め、意見文を書くことを学んでいる。これらで身に付けた知識や技能を発揮し、政治へのかかわり方を考え、発表していくなかで「思考力・判断力・表現力」の育成をめざす。</p>



## 6.単元に関連する教科および単元計画（案）

主にする教科・単元名：社会・総合 「政治への参加について話し合おう」			関連する教科 1 国語 「未来がよりよくあるために」			関連する教科 2 算数 「資料の特ちょうを調べよう」		
時	主な活動	資質能力	時	主な活動	資質能力	時	主な活動	資質能力
1	・政治について学んできたことを確認する ・直近の選挙の投票率を読み取り、投票率の変化をとらえる ・課題の設定	主	1	・学習計画を立てる ・「平和のとりでを築く」を読む ・自分がどのような未来にしたいのか考える	資質・能力を選択	1	・集団の特徴を調べる方法	資質・能力を選択
2	・選挙に関することを調べ、資料を集める (投票率、外国の選挙制度など)	主	2		資質・能力を選択	2	・代表値としての集団の理解	資質・能力を選択
3		主	3		資質・能力を選択	3	・資料の散らばりの様子の考察	資質・能力を選択
4	・集めた資料を読み取り、考察する ・考察した意見を伝えあい、考えを深める	思	4		資質・能力を選択	4	・資料を度数分布表に整理する方法	資質・能力を選択
5	・資料から考えたことやこれからどのように政治に参加できるかを意見文として	知・思	5		資質・能力を選択	5	・度数分布表の読み方	資質・能力を選択
6	文章にまとめる	知・思	6		資質・能力を選択	6	・柱状グラフに整理する方法	資質・能力を選択
7	意見文を発表し交流する。 新聞社に投書する。	思・主	7		資質・能力を選択	7	・柱状グラフの読み方	資質・能力を選択
8		資質・能力を選択	8	・「意見文の構成表の例」を参考にし、意見文を書く準備をする。	資質・能力を選択	8	・資料の統計的な考察	資質・能力を選択
9		資質・能力を選択	9	・意見文から説得力を持たせる工夫について学ぶ ・意見文を書く	資質・能力を選択	9	・既習のグラフを組み合わせたグラフの読み方	資質・能力を選択
10		資質・能力を選択	10	・意見文をグループで読み合い、深められた考えや書き方の工夫について伝え合う	資質・能力を選択	10	・学習内容の理解	資質・能力を選択

※主にする教科の学習時には、関連する教科1・2ともに既習

7. 重点単元計画 (案)		
重点単元 単元名	「 政治への参加について話し合おう 」	資質・能力
	活動	
1	政治について学んできたことを確認する 直近の選挙の投票率を読み取り、投票率の変化をとらえる 政治や選挙に関する小学生の考えとして、新聞社に投書することを確認する	
2～3	選挙に関することを調べたり資料を集めたりして考えを広げる (例：投票率、各世代の意識、意見、外国の選挙制度など)	主
4 本時	集めた資料を読み取り、考察する 考察した意見を伝えあい、考えを深める	知・思
5～6	資料から考えたことやこれからどのように政治に参加できるかを意見文として文章にまとめる。	知・思
7	意見文を発表し交流する。 新聞社に投書	知・思・主
8.本時のめあて・略案 (主な活動を簡条書きで)	めあて	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集めた資料を読み取り、考察する</li> <li>・それぞれの意見を伝えあい、考えを深める</li> </ul> <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○資料について考えたことを交流し、意見を伝え合おう。</li> </ul>	
	児童・生徒の活動	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集めた資料を考察し、思ったこと、わかったことをまとめる。</li> <li>・意見を聞き合って、考えを深める。</li> <li>・質問や助言、他の意見を踏まえ、考えをまとめる。</li> </ul>	
9.PDCA サイクルの C の方法		

単元計画作成の手順として、1. 学校教育目標を確認、2. 子供の実態からつきたい力を考える、3. 重点単元の設定にあたり、「教科横断的（以下、合科的とする）な扱いをすることで期待できる効果」について考えることを共通の理解としました。上記2.を検討する際は、特に「何ができるようになるか」という、「指導のねらい」を明確に設定し、「教科の本質」をしっかりと把握するよう留意しました。また、3.では、研究員がお互いの考えを共有したり、単元構成について生まれた疑問をSVに指導助言いただくなど、協議を重ねながら指導案を作成していきました。

(2) S Vからの指導助言 ～大阪教育大学 木原教授の講義より～

ア 今求められる学力について

- ・育成すべき三つの資質能力は単元のまとまりごとに追求する部分をしぼり、焦点化することが望ましい。

イ 主体的な学びについて

(例)

- ・タブレット端末を活用し、算数であっても教室の外に出て関連を見つけて撮影するなどの取り組み。
- ・資料の統計を紙飛行機の飛距離と関連づけて思考する取り組み。
- ・社会科と総合など教科を横断した活動を設定する中で、分担して調べ学習を行いジグソー法でつなげるといった取り組み。(主体的と対話的の融合的な発想)

ウ 対話的な学びについて

(例)

- ・国語科において同じ作者の多様な作品の批評を重ねる活動の進め方  
全体で同じ作品に触れる方法、枝分かれ(手分け)して7作品を調べ、工夫して発表する方法(座標軸の表に付箋をはりながら分類し、説明する活動)など多様な手法を用い、意見や考えを見える化する。

エ 深い学びについて

- ・教科書を取り扱うだけでなく子供が魅力のある対象に接近し、それを多面的に検討し、その結果を工夫して表現する過程が繰り返されることが望まれる。

オ カリキュラム・マネジメントについて

- ・私の授業⇒私たちの授業の視点 学校をあげて他の人、他の教科、仲間とのかかわりを強化。特に中学校での実施には協力が不可欠であるが、やる価値は高い。

カ アプローチ 誰でもできるカリ・マネウォーミングアップ

(ア) 3つの教科を合わせて(小学校1年 国語、道徳、生活)

国語科『サラダでげんき』生活科『お手伝い』と道徳科『家族愛』

(イ) 総合的な学習の時間の学びを生かす(小学校4年 国語、総合)

「避難所にペットを連れて行ってよいのか」

「話す」を総合では取り扱わない。

「調べること」を国語科では取り扱わない。

これを合科的に取り扱うことで、それぞれでは獲得できない学びを得ることができ  
る良さがある。

(ウ) 中学校道徳との関連づけ(中学校2年 国語、道徳)

意見文でボランティアの是非について取り扱う。

道徳科で共感できる、または共感できないについて話し合う。



(エ) 中学校英語と音楽のTTで合科  
「私のクラスのいいところを英語で表現しましょう&BGMをつけてみましょう」

(オ) 小学校における国語と栄養教諭のかかわり(小学校3年 国語、食育)

(カ) 外部の資源を生かしたカリキュラム・マネジメント (国語、総合)  
・句会の専門家をゲストティーチャーに (地域の人材の活用)

キ その他

(ア) ≪学校教育目標≫について  
意識したカリキュラムであること必須(優先順位をつけて)  
実態を把握するためにアンケート調査を実施 (各学期ごとに)

(イ) ≪外部の資源を活かした教育課程の編成≫について  
カリキュラム・マネジメントの実践において、「何のために」、「何をねらうのか」  
が大事。

(ウ) ≪単元構成、教材作成≫について

- a 子供につけたい力を明確にする
- b 教科や単元を何のために結び付けるのか考える
- c 魅力的な教材づくり、リアリティのある教材、教材の必然性など
  - ・取り組みやすいのは特別活動、総合的な学習の時間との関連付け  
(例) 食べること(みんな興味があること)⇒様々なことにつなげやすい。  
家族愛、弁当作り、食の安全、キャンペーン活動など
  - ・国語科の意見文を書く取り組みなどでは、書き方を教える学習ではあえて短時間で教えて、うまく書けないことを実感させ、他教科の学習の中で、他教科の学びをテーマとして改めて書き方についておさえなおし、できるようになったという達成感を味わわせる。
  - ・教科をまたいでの実施は、小学校では学期に1回程度、中学校では年間1回程度(重点単元の設定)実践できればよいくらいの気持ちで始めればよい。

(3) 教材の開発および発信

ア 奥本直己 教諭(吹田市立第一中学校) ※指導案は別紙1  
第2学年 数学科と国語科によるカリキュラム・マネジメント  
日時: 令和元年 10月21日(月) 第6限  
場所: 2年1組教室  
単元名: 3章1次関数 「中学数学」(日本文教出版)  
単元の目標

- ①日常の事象の中には一次関数として捉えられるものがあることや一次関数の変化の特徴を、表・式・グラフから理解することができる。(知識)
- ②一次関数の特徴を、表・式・グラフを用いて的確に表現、数学的に処理することができる。さらに、2元1次方程式の関数関係を表す式とみてグラフに

表したりすることができる。(技能)

③一次関数として捉えた数量について、事象の変化や対応の特徴を見だし、関数関係に着目し、その特徴を表・式・グラフを相互に関連付けて考察し表現することができる。(見方・考え方)

④数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に活かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとする態度。

(学びに向かう力・人間性等)

【カリキュラム・マネジメントを意識した学習計画による効果・ねらい】

ある事象から、一次関数を見だし、表・式・グラフに表すことで、数学的根拠をもとに他者へ説明することができる。また、アンケート(国語科)を作成し、アンケートの分析から特徴を見だし、数学的根拠をもとに最適解を検討する。そして、他者との考えを比較検討し、多面的な見方をすることができる。

イ 山田忍 教諭 (吹田第六小学校) ※指導案は別紙2

第6学年 図画工作科と国語科のカリキュラム・マネジメント

日 時：令和元年11月15日(金)第6限

場 所：6年1組教室

単元名：美術館を開こう 鑑賞(図画工作科)「図画工作」(日本文教出版)

この絵、私はこう見る(国語科)「創造」光村図書出版

単元の目標

【主体的に学習に取り組む態度】

作品の良さや表現の意図、特徴などについて、感じ取ったり考えたりして自分の生活につなげようとする。

【知識・技能】

作品の動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを捉えることができる。

【思考力・判断力・表現力】

色や形、表現の意図や特徴などを捉え、話し合ったり文章に表したりしながら親しみのある美術作品のよさや美しさを感じ取っている。

【カリキュラム・マネジメントを意識した学習計画による効果・ねらい】

・理解したことをどのように表現するか(思考・判断・表現力)

・様々な角度(視点)からものを見ることができるようになる⇒自分目線ではない分析

・トライ&エラー(国語→図画工作)を繰り返すことで技能の定着を図る

(4) 2年間の研究実践を通して

【成果】

(指導者にとって)

- ・パフォーマンス課題の設定を行うことで単元計画のゴールが明確になる。
- ・教科横断の視点で単元の構成を考えることは、教材を深く知ることにつながり、育成すべき資質能力を効果的に指導できる学習活動が見えてくる。
- ・単元計画を見直すことで、授業時数の圧縮が可能。

- ・学ぶ必然性、学習動機を考えたためあての設定がしやすく、子供の実態に即した教材開発をしやすい。

(子供にとって)

- ・既習事項を活用して実生活に結び付けることの良さを実感しやすい。
- ・教科や単元を横断した視点で行う学習は、知識や技能の活用をもとに思考・表現する機会が必然的に生まれるため、学びの深まりが期待できる。
- ・既習事項を用いて他の教科で学習することは、反復演習の効果があり、定着しやすい。

#### 【課題】

- ・単元構成の検討、教材づくりに費やす時間が多い。  
⇒成果物の共有、財産化を行い教材づくりの時間を短縮する。
- ・単元目標、系統性、主とするねらいをどこに設定するのか。  
⇒合科的な視点で単元計画を作成する場合には、主とする教科の目標を達成することは必須であるが、合科的に扱うことでつけたい力については、どの時間のどの活動で評価を行うのかを明確にし、単元計画を立てる必要がある。
- ・中学校における教科間の連携が大切である。  
⇒中学校において教科を横断的した授業を行うことは容易ではないので、同一教科内で単元構成の見直しを行うことから始めるのも一つといえる。また、全教科の年間指導計画を俯瞰的に見る機会を作り、教科を越えて実施時期の調整を行うことも有効である。

#### (5) 成果の発信について

- ・研究紀要に掲載

教育センターホームページより

教職センター業務コンテンツ — 調査・研究活動 — 令和元年度研究報告書  
— 授業づくり研究グループ

- ・「知恵の泉」に掲載

市内共有フォルダ — 知恵の泉 — 調査資料 — 調査研究グループ  
— 令和元年度 — 授業づくり研究グループ

## 5. おわりに

本研究グループでは、2年の歳月をかけ、「主体的・対話的で深い学びを実現するための授業づくり」をテーマに、特に「深い学び」について研究・実践を行ってきました。研究を進めるにあたり、グループの研究を方向づけたのは、スーパーバイザー木原教授の「子供が魅力のある対象に接近し、それを多面的に検討し、その結果を工夫して表現する過程が繰り返されること」という言葉でした。導入の場面に、興味の湧く教材を取り入れて意欲を持たせることや、ペアで話し合わせるといった活動はこれまでも取り組んできました。しかし、「子供が魅力のある対象に接近する」「多面的に検討する」「工夫して表現する」「繰り返される」活動であったのかと問われると、自信をもって首を縦に振ることはできませ

ん。「子供が魅力のある対象に接近する」とはどういうことか、「工夫して表現する」場面の設定はどうすれば作ることができるのか、そのようなことを議論していく中で、パフォーマンス課題を設定することやカリキュラム・マネジメントの視点を持つことが答えに近づく手立てであることに気付きました。

しかし、「1 単位時間の授業構成だけを見るのではなく、単元で考えた授業づくりを!」、そんな言葉がようやく当たり前の認識として捉えられ始めた今日において、「学校教育目標をもとに、子供の実態に即した目標を設定し、重点とする単元の構成を考える」という、カリキュラム・マネジメントの視点に立った授業づくりを行うことは、私たち研究員にとって、暗闇の中を歩くようなものでした。

議論は尽きず、気が付いたら終了時刻ということは度々。議論を重ねていくうちに、理論や評価のことばかりを考えてしまい、「子供が魅力のある対象に接近する活動から遠のいている」と指摘されることも幾度としてありました。

そんな時に木原教授からいただいた「理論はもちろん大事だけれども、面白いと思える活動をまずはやってみる。“DOから始める”活動もあっていいのでは」という言葉は視界を明るくしてくれました。

本研究のまとめは、理論を大事にしつつも、「“DO”から始めたカリ・マネ」の足跡です。成果と課題の項にも記しましたが、カリキュラム・マネジメントの視点で合科的な授業を行うことの効果は、本当に大きいと考えます。

本グループの一年間の足跡を見ていただいた皆さんにも、ぜひ「理論を大事にしつつも“DO”から始めるカリマネ」に挑戦していただきたいと思います。初めは苦勞するかもしれませんが、苦勞の先には「子供が魅力のある対象に接近する」姿が見られるはずです。

カリキュラム・マネジメントに関しては、学校内だけではなく、保護者や地域の人々等を巻き込んだ「社会に開かれた教育課程」の理念を踏まえた「カリキュラム・マネジメント」を確立、ということが言われていますが、まずは身近な教員の中で、子供たちの姿を思い浮かべ、「子供が魅力のある対象に接近する」深い学びとなる授業を目指すところから始めていきたいと思います。

そして、この先予測困難な社会を生きていく子供たちのために、私たちは常に学び続け、研究したことが子供たちの生き活きとした学習活動につながると信じ、これからも研鑽に励んでいきたいと思います。

## < 参考 >

文部科学省 小学校学習指導要領（平成29年）

文部科学省 中学校学習指導要領（平成29年）

文部科学省 中央教育審議会 「4 学習指導要領の理念を実現するために必要な方策」

（平成27年8月）

大阪教育大学 教授 木原俊行「主体的・対話的で深い学びに迫る授業づくりについて」

（令和元年6月4日講義資料）

## 第2学年1組 数学科学習指導案

日時：令和元年 10月21日（月）第6限

指導者：教諭 奥本 直己

（吹田市立第一中学校）

場所：2年1組教室

## 1 単元名 3章 1次関数

## 2 単元の目標

- ① 日常の事象の中には一次関数として捉えられるものがあることや一次関数の変化の特徴を、表・式・グラフから理解することができる。

(知識)

- ② 一次関数の特徴を、表・式・グラフを用いて的確に表現し、数学的に処理することができる。さらに、2元1次方程式を関数関係を表す式とみてグラフに表したりすることができる。

(技能)

- ③ 一次関数として捉えた数量について、事象の変化や対応の特徴を見いだし、関数関係に着目し、その特徴を表・式・グラフを相互に関連付けて考察し表現することができる。

(見方・考え方)

- ④ 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に活かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとする態度。

(学びに向かう力・人間性等)

- ⑤ ある事象から、一次関数を見いだし、表・式・グラフに表すことで、数学的根拠をもとに他者へ説明することができる。また、アンケート（国語科）を作成し、アンケートの分析から特徴を見いだし、数学的根拠をもとに最適解を検討する。そして、他者との考えを比較検討し、多面的な見方をすることができる。

## 3 指導に当たって

## (1) 教材観

関数については、小学校で、伴って変わる二つの数量の関係を調べたり、表やグラフをかいたりしながら、比例の基本的な性質を学習してきた。中学校第1学年では、数量関係の基本として比例や反比例を学習するとともに、変化と対応、変数、変域、座標などの意味を学習してきた。また、具体的な事象の中にある二つの数量の変化を調べることを通して、比例、反比例の関係をみいだし、数量関係を、変化や対応に着目し、一般化して、式によって定義しなおし、予想し表現し考察する能力を養ってきた。第2学年においては、第1学年での既習内容をもとに比例関係を発展させ、具体的な事象における二つの数量の変化や対応を調べることを通して、一次関数について考察する。

一次関数の特徴は、変化の割合が一定で、グラフで表したときには、直線となる。このことは、一次関数での本質に関わることから、丁寧かつ時間をかけて生徒の気づきにつなげながら指導していきたい。また、具体的な事象の中で、一次関数を見いだし、表・式・グラフを用いて表現し、予想し、生活の中での数学の有用性に気づかせるとともに活用できることを感じさせながら、課題に取り組ませたい。

## (2) 生徒観

省略

## (3) 指導観

「一次関数の利用」では、具体的な事象の中から取り出した二つの数量の関係を、理想化した

り単純化したりして一次関数とみなすことで、物事の変化や対応の様子を調べられたり、予想することができる。その中で数学的なものの見方や考え方、その処理の方法を学習していき、身のまわりの事象の中で関数関係を見いだす力につなげたい。

本時では、生徒にとって興味・関心の深い携帯電話の料金を題材として課題を設定した。国語の授業にて作成した携帯電話の使用状況についてのアンケートをもとに、アンケートの結果と携帯電話のプラン表の中から必要な情報を読み取り、グラフや表に整理し、事象の中で見いだした関数関係と照らし合わせて、数学的根拠をもとにお客様が満足するようなプランを説明できるようにしていきたいと考える。また、日常生活の中で、数学の有用性も感じさせたい。

なお、携帯電話などの情報機器の活用については、情報モラルや適切な活用方法について他の授業において指導していきたいと考える

#### 4 単元（題材）の指導・評価計画（総時数 20 時間）

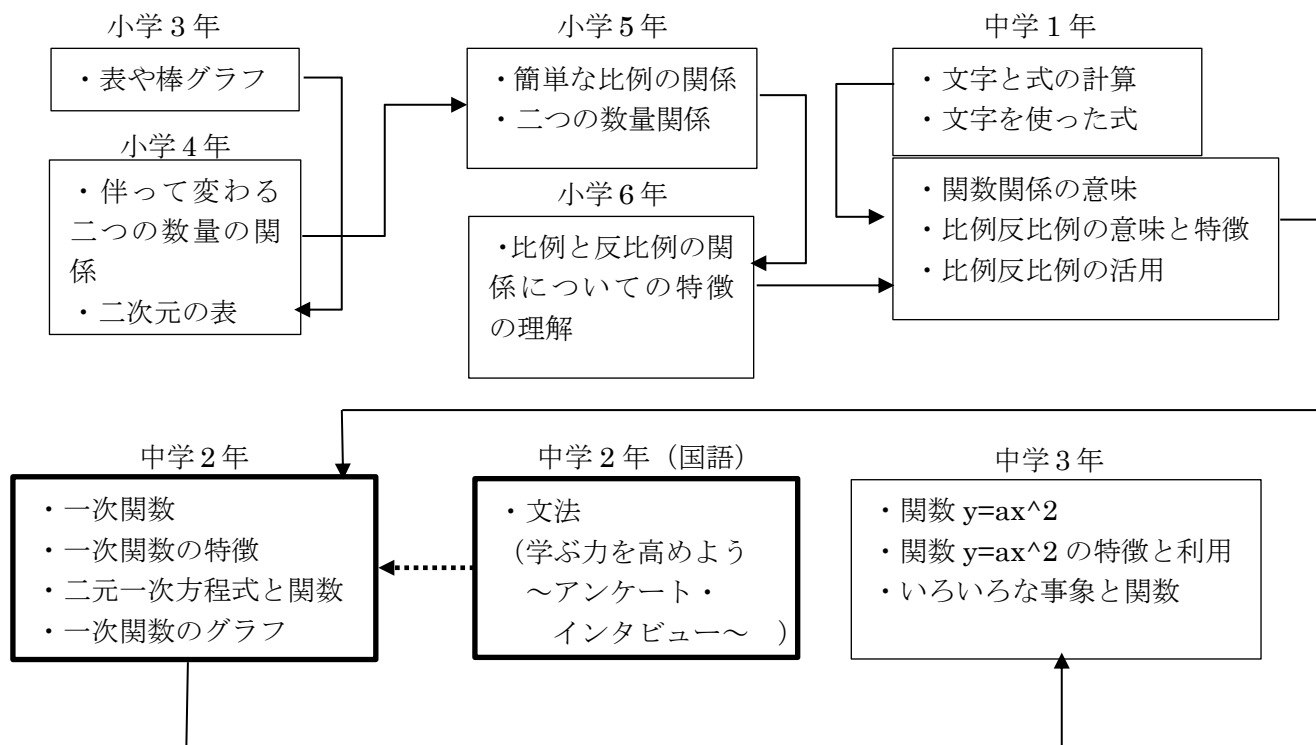
節	小単元名及び目標	主な学習活動	評価規準	評価の観点			
				関	知	技	考
一 節  一 次 関 数 ( 9 )	1. 1次関数(第1時) 伴って変わる2つの数量の関係が1次関数であるかを判断することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>比例の復習。</li> <li>1次関数について考えよう</li> <li>伴って変わる2つの数量について考える。</li> <li>1次関数の意味を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りの伴って変わる2つの数量の関係について、調べている。(関)</li> <li>比例は1次関数の特別な場合であることを理解している。(知)</li> </ul>	○	○		
	2. 変化の割合(第2時) $y = ax + b$ において、 $x$ の値の変化に対する $y$ の値の変化の割合は一定で、その値が $a$ の値に等しいことを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li><math>x</math>の増加量と<math>y</math>の増加量について</li> <li>変化の割合の意味を理解する。</li> <li><math>x</math>の増加量に対する<math>y</math>の増加量を計算し、変化の割合を求める。</li> <li>変化の割合の特徴を理解する。</li> <li>反比例の場合の変化の割合について考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関数の変化の割合を求めることができる。(技)</li> <li>1次関数<math>y=ax+b</math>の変化の割合は一定で<math>a</math>に等しいことを理解している。(知)</li> </ul>		○	○	







5 重点単元に関連のある教科や単元



単元名…1次関数	時	1	2	3,4	5	6,7	8,9	10,11
	主な活動		・関数の復習 ・1次関数について	変化の割合	1次関数のグラフ	1次関数のグラフの特徴	1次関数のグラフのかき方	1次関数の求め方、演習
資質能力		関・知	知・技	技・考	知・考	技・考	技	技・考
教科(国語) 関連する	主な活動							
	資質能力							

単元名…1次関数	時	12,13	14	15	16	17	18	19,20
	主な活動		連立方程式の解とグラフ、演習	1次関数としてみなして考えること		表・式・グラフの活用	身近な数量の関係を表すグラフ	身のまわりの問題を1次関数で考えよう
資質能力		知・技	知・考		技・考	技・考	知・考	知・考
教科(国語) 関連する	主な活動			調査の方法を知る、アンケートの項目を考える。	アンケート作成、交流	アンケート作成		
	資質能力			知・考	知・考	知・考		

## 6-1 本時までの学習 第14時(国語科アンケート作成の動機づけ)

## (1) 小単元(題目等)名

「三節 1次関数の活用」

## (2) 学習のねらい

携帯電話に関するアンケートの作成依頼と携帯電話のプランについての説明をし、今回の授業の内容を把握させる。

## (3) 準備・資料等

- ・携帯電話の料金表(携帯プラン)
- ・データ通信料に関する資料

## (4) 授業の展開

時間	学習活動	指導上の留意点	評価(観点, 方法等)
30分	・通常授業を行う。		
10分	・身の回りの1次関数について振り返る。  ・内容の説明	・携帯料金は1次関数で表すことができることを確認する。 <b>反応例</b> ・消費税、水道代、電気代、ガス代、お風呂の水、携帯電話料金 など	<b>関</b> 身の回りの1次関数を見いだすことができる。
10分	<b>生徒とのやり取り</b> 教:携帯料金は1次関数だったよね。基本料金の話をしたの覚える?今回は、自分ではなく、ある人に合う携帯プランを考えたいと思います。 A:えー。 教:人に合うプランを考えるためには、何が必要な? B:その人を知ること。 教:知るためには、どんなことをしたらいい? A:その人と話す。 B:見た感じでいく。 C:年齢を聞く。 教:それだけでは、その人がどういう目的で携帯電話を使っているかわからないよね。目的を知るためには、どんな方法があるだろ・・・。 D:アンケートしてみたら 教:なるほど。じゅあ、その人に合う携帯プランを知るためのアンケートを作ってみよう。ちなみに、アンケートの作り方って小学校でやったことない?どの教科で作ったやる? A:国語やろー。 教:じゃ国語で作ろう。〇〇先生に資料渡しておくわ。ちなみに、どんなことを聞けばいいかな。 A:携帯電話の使い方。例えば、メールをどれくらいする?普通の電話と無料電話をどれくらいするとか、YOUTUBEをどれくらい見るとか。ゲームするとか。 教:何を質問したらプランの決定につながるか、考えながらアンケートをつくってね。		
	・資料の説明	・どんな項目が必要か触れておく。 ・無料電話には通信料がかかることを伝える。	

\*携帯電話のプランを考えることで携帯電話がより身近な存在となる。したがって、携帯電話に

対する情報モラル面には十分留意しながら、授業を展開していく。

## 6-2 本時までの学習 第19時（課題を把握し、グラフの作成をする）

### (1) 小単元（題目等）名

「三節 1次関数の活用」

### (2) 学習のねらい

携帯電話の料金表を読み取り、必要な情報を精査して、1次関数のグラフを作成させる。

### (3) 準備・資料等

- ・携帯電話の料金表（資料①、②）
- ・データ通信料について（資料③）
- ・アンケート例（資料④）
- ・ワークシート①
- ・色鉛筆等

### (4) 授業の展開

時間	学習活動	指導上の留意点	評価（観点、方法等）
2分	・1次関数の復習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<math>y=ax+b</math>、<math>a</math>の値についての確認を行い、事象を一般化できるようにする。</li> <li>・直線の式の求め方やグラフのかき方を確認する。</li> </ul>	
3分	・課題の把握、資料の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・料金表から関数関係を見だし、1次関数となることに気づくように指導していく。</li> <li>・資料①②、ワークシート①の配布</li> <li>・Wi-Fiの環境はないものとして考えることを伝える。</li> <li>・通話に関しては、無料アプリを使うことも想定してよい。</li> <li>・無料通話はデータ通信料を使用することを伝える。</li> </ul>	
	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <b>問題1</b>            パンフレットの情報から、グラフをかこう。また、パンフレットの情報をまとめよう。         </div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <b>技、考</b>資料から、伴って変わる2つの数量の関係を見だし、グラフをかきことができる。            (ワークシート)         </div>
10分	・直線の意味をパンフレットから考える。	・図の直線とパンフレットの情報を結び付け、直線の意味を理解させる。	
10分	・パンフレットから情報を読み取り直線をかく。 (個人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・班で手分けしてグラフの作成を行う。</li> <li>・班長を中心に、誰がどのプランについて作成するのかを決めさせる。</li> </ul>	

10 分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かいたグラフを班に伝え 10 本のグラフを完成させる。(班)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グラフがかけない生徒に対して、補助プリントを配布する。</li> <li>・切片や <math>x,y</math> の組を用いてグラフのかき方の説明をさせる。</li> <li>・説明のキーワードを提示する。</li> </ul>	
13 分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仮想のアンケートについてプランを考える。(個人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料③④を配布する。</li> <li>・プランを決定するにあたり、何を基準に判断したのかを考えさせる。</li> </ul>	
2 分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次回の授業内容を確認する。</li> </ul>		

\*携帯電話のプランを考えることで携帯電話がより身近な存在となる。したがって、携帯電話に対する情報モラル面には十分留意しながら、授業を展開していく。

## 6-3 本時の学習 第20時

## (1) 小単元(題目等)名

「三節 1次関数の活用」

## (2) 本時のねらい

グラフを使って表した携帯電話の料金プランに関する1次関数と国語の授業において作成したアンケートの結果を照らし合わせて、数学的根拠をもとに問題を解決させる。

## (3) 準備・資料等

- ・携帯電話に関する実施したアンケート(国語科にて作成)
- ・携帯電話の料金表(資料①、②)
- ・データ通信料について(資料③)
- ・ワークシート①(前時で作成)
- ・ワークシート②

## (4) 本時の展開

時間	学習活動	指導上の留意点	評価(観点, 方法等)
10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の内容の確認、資料の配布</li> <li>・授業内容の把握</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート②を配布する。</li> <li>・前時までの授業の確認をする。</li> </ul>	
<p>携帯電話の購入について悩んでいる人がいます。アンケートを参考にどの携帯会社のどのプランがお客さんにぴったり合うか、教えたい。お客さんが満足するようにどのように説明しますか。考えてみましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><b>資料</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お客さんの携帯の利用目的についてのアンケート</li> <li>・携帯電話の料金表</li> <li>・グラフ</li> </ul> </div> <p>※Wi-Fiの環境はないものとして考える          ※通話に関しては、無料アプリを使うことも想定してよい。</p>			
15分 (3分×5)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各世代について、アンケートをもとにおすすめのプランを検討する。(班)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートの報告をさせる。</li> <li>・人の意見をメモさせる。</li> <li>・対象者の傾向を考えさせる。</li> <li>・各世代について、グラフなどを用いておすすめのプランを検討させる。</li> </ul>	
15分	<p><b>問題</b>          お客さんに合うお得なプランを考えよう。          (個人)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者の意見を参考にすすめのプランを考えさせる。</li> <li>・数的根拠を書くように伝える。</li> </ul>	<p><b>考</b>アンケート対象者に合うプランを決定し、グラフなどを参考に説明することができる。</p>

5分	・おすすめプランについて交流する。 (フリー)	・携帯会社、プランの比較をしながらおすすめプランを決定させる。	
5分	・振り返りシートの記入	・他者に説明をしに行く。 ・再検討をさせる。	

\*携帯電話のプランを考えることで携帯電話がより身近な存在となる。したがって、携帯電話に対する情報モラル面には十分留意しながら、授業を展開していく。

(5) ルーブリック

評価の基準	
A	各プランについての通話時間と料金の関係を一次関数にとらえ、携帯電話の使用目的・使用状況をアンケートから読み取り、どのプランが最適かを料金プランや携帯電話会社の比較を数学的にすることによって決定することができる。
B	各プランについての通話時間と料金の関係を一次関数にとらえ、携帯電話の使用目的・使用状況をアンケートから読み取り、プランを決定することができる。
C	各プランについての通話時間と料金の関係を一次関数にとらえ、プランを決定することができる。

○A社

プラン内容

2019年8月1日から受付開始

**新ピットリプラン**

ずっと

**1,900**円/月～(～1GB)

※通話料(20円/1分)が別途かかります

〈～1GB〉 1,900円/月～  
 〈1GB超～4GB〉 3,400円/月～  
 〈4GB超～7GB〉 4,400円/月～  
 基本使用料：1,200円/月

2019年8月1日から受付開始

7GB+人気のSNSがデータ消費ゼロ! ※1

**新フラットプラン**

ずっと

**3,400**円/月～(7GB)

※通話料(40円/1分)が別途かかります

※1 Instagram、LINE、YouTube、Facebook、Twitter  
 基本使用料：1,200円/月

2019年8月1日から受付開始

データ使い放題(50GB)!

**新MAXプラン**

ずっと

**5,500**円/月～(50GB)

※通話料(30円/1分)が別途かかります

基本使用料：1,200円/月

## 使った分だけギガ

Min モンスター

データ容量  
**使った分**  
だけお支払い

+

通話料  
**話した分**  
だけお支払い※1

<~1GB>1,500円/月

<1GB超~2GB>3,000円/月

<2GB超~5GB>4,000円/月

<5GB超~50GB>5,000円/月

※1 通話料金 30円/1分

基本使用料金 1,000円、Web使用料 300円がかかります。

## 使い放題ギガ

Hyper モンスター

データ容量  
**50GB**

+

通話料  
**話した分**  
だけお支払い※1

**4,500**円/月~

※1 通話料金 50円/1分

基本使用料金 1,000円、Web使用料 300円がかかります。



# パケット 1GB プランはどのくらい使えるのか？

## LINE や動画のデータ通信量から計算



スマホでパケット定額の上限が「1GB」プランの場合、Web ブラウジングやメール、LINE、動画視聴はどれくらいできるのか？ ※1GB = 1,000MB = 1000,000KB

### 1: Web サイト閲覧

- Web サイト 1 ページあたり: 236KB (スマホ版 Yahoo! トップページ)
- 1GB プランで: 4,338 ページ閲覧可能
- 1 ヶ月間毎日「145 ページ」閲覧続けて 1GB 到達
- 500 文字送ると: 2KB
- 1GB プランで: 500,000 回 (50 万回)
- 1 ヶ月間毎日「16,667 回」LINE を送り続けて 1GB 到達

### 2: メール

- 300 文字のテキストメール: 15KB
- 1GB プランで: 66,666 通 (6 万 6,666 通)
- 1 ヶ月間毎日「2,222 通」メールを送信し続けて 1GB 到達

### 6: LINE (音声通話)

- 通話 1 分で: 0.3MB, 1 時間で: 18MB
- 1GB プランで: 55 時間 30 分通話可能
- 1 ヶ月間毎日「1 時間 51 分」LINE 音声通話をし続けて 1GB 到達

### 3: メール + 写真 1 枚

- 300 文字のテキストメール + 写真 1 枚: 1MB
- 1GB プランで: 1,000 通
- 1 ヶ月間毎日「33 通」写真付きメールを送信し続けて 1GB 到達

### 7: LINE (ビデオ通話)

- 通話 1 分で: 5.13MB, 1 時間で: 307.8MB
- 1GB プランで: 3 時間 15 分通話可能
- 1 ヶ月間毎日「6 分 30 秒」LINE ビデオ通話をし続けて 1GB 到達

### 4: Google マップ

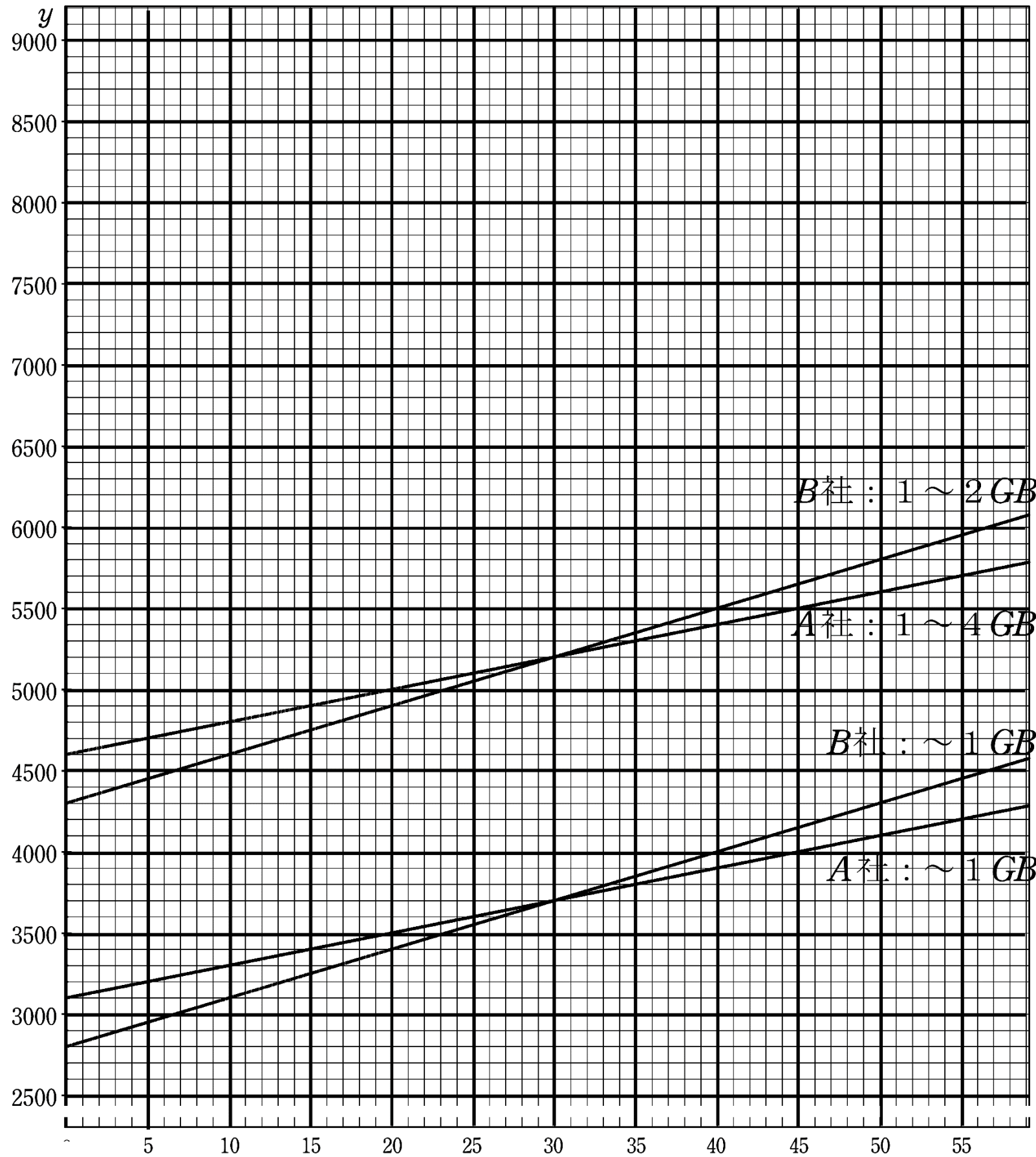
- 現在地を表示して拡大: 723KB
- 1GB プランで: 1,398 回
- 1 ヶ月間毎日「46 回」地図を閲覧し続けて 1GB 到達

### 8: YouTube (高画質)

- 動画再生 1 分で: 11.11MB, 1 時間で 666.6MB
- 1GB プランで: 90 分再生可能
- 1 ヶ月毎日「3 分」動画再生をし続けて 1GB 到達

(円) 今日の目標 ( )

● グラフを考えた道筋を残そう。



【プランを考えよう】

2年( )組( )番 名前( )



## アンケートの振り返り

2年( )組( )番 名前( )

Q1.どの質問項目が、プランを検討するのに役に立ちましたか。その理由もかこう。

項目 : \_\_\_\_\_

理由 : \_\_\_\_\_

項目 : \_\_\_\_\_

理由 : \_\_\_\_\_

項目 : \_\_\_\_\_

理由 : \_\_\_\_\_

Q2.プランを検討するにあたり、ほかにどんな項目が必要だったと思いますか。その理由もかこう。

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

Q3.アンケートの作成において、工夫したことをかこう。

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

Q4.アンケート作成で、学んだ・感じたことをかこう。

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

プランについてまとめよう

会社名	A社	A社	B社	B社						
プラン名	新ピタ ッリップ ラン	新ピタ ッリップ ラン	Min モ ンスタ ー	Min モ ンスタ ー						
使用可能 GB 数	~1GB	1 ~ 4GB	~1GB	1 ~ 2GB						
GB 料金	1,900	3,400	1,500	3,000						
基本使用 料	1,200	1,200	1,300	1,300						
通話料金 (1分)	20	20	30	30						
数式	$y=20x+3,100$	$y=20x+4,600$	$y=30x+2,800$	$y=30x+4,300$						

## 携帯電話の使用状況に関するアンケート(例)

性別( )年齢( )代

この度、携帯電話の使用状況に関するアンケートを実施する運びとなりました。お忙しいところ恐れ入りますが、下記のアンケートにご協力いただき、ご意見をお聞かせいただけましたらと思います。(このアンケートは、数学の授業のみで使用し、皆さんのお名前は公表いたしません。)

Q1.該当する職業にチェックを入れてください。

主婦 会社員 公務員 自営業 学生 その他

Q2.1日平均どれくらいの時間、携帯電話を使用しますか。

30分未満 30分以上1時間未満 1時間以上2時間未満

2時間以上3時間未満 3時間以上 4時間以上

Q3.次のうち、使用頻度が高いものを高い順にお答えください。

1,電話(通話) 2,メール 3,サイト閲覧 4,SNS

5,動画視聴 6,ゲーム 7,音楽 8,その他

①番( ) ②番( ) ③番( )

Q4.1か月の平均通話時間はどれくらいですか。

通話しない 5分以上15分未満 15分以上30分未満

30分以上1時間未満 1時間以上2時間未満 2時間以上

Q5. Q4で回答が「通話しない」以外だった方に質問します。通話方法として最も頻度が高いものは次のうちどれですか。

無料通話アプリ 普通電話 その他( )

Q6.1か月の平均動画視聴時間はどれくらいですか。

30分未満 30分以上1時間未満 1時間以上2時間未満

2時間以上3時間未満 3時間以上4時間未満 4時間以上

Q7.使用頻度が高いSNSは何ですか。(複数回答可)

LINE Facebook Instagram YOUTUBE

Tik Tok その他( )

Q8.月ごとのご自身のデータ使用料を把握していますか。

はい いいえ

Q9. Q8で回答が「はい」だった方に質問します。月ごとのデータ使用料に差はありますか。(例)1月から3月は多いが、6月から8月は少ない。

はい ( )

いいえ

Q10.現在加入している料金プランが、ご自身のライフスタイルに適していると思いますか。

思う 思わない わからない

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

## 携帯電話の使用状況に関するアンケート(例)

性別( 男 )年齢(30)代

この度、携帯電話の使用状況に関するアンケートを実施する運びとなりました。お忙しいところ恐れ入りますが、下記のアンケートにご協力いただき、ご意見をお聞かせいただけましたらと思います。(このアンケートは、数学の授業のみで使用し、皆さんのお名前は公表いたしません。)

Q1.該当する職業にチェックを入れてください。

主婦 会社員 公務員 自営業 学生 その他

Q2.1日平均どれくらいの時間、携帯電話を使用しますか。

30分未満 30分以上1時間未満 1時間以上2時間未満

2時間以上3時間未満 3時間以上 4時間以上

Q3.次のうち、使用頻度が高いものを高い順にお答えください。

1,電話(通話) 2,メール 3,サイト閲覧 4,SNS

5,動画視聴 6,ゲーム 7,音楽 8,その他

①番( 6 ) ②番( 5 ) ③番( 1 )

Q4.1か月の平均通話時間はどれくらいですか。

通話しない 5分以上15分未満 15分以上30分未満

30分以上1時間未満 1時間以上2時間未満 2時間以上

Q5. Q4で回答が「通話しない」以外だった方に質問します。通話方法として最も頻度が高いものは次のうちどれですか。

無料通話アプリ 普通電話 その他( )

Q6.1か月の平均動画視聴時間はどれくらいですか。

30分未満 30分以上1時間未満 1時間以上2時間未満

2時間以上3時間未満 3時間以上4時間未満 4時間以上

Q7.使用頻度が高いSNSは何ですか。(複数回答可)

LINE Facebook Instagram YOUTUBE

Tik Tok その他( )

Q8.月ごとのご自身のデータ使用料を把握していますか。

はい いいえ

Q9. Q8で回答が「はい」だった方に質問します。月ごとのデータ使用料に差はありますか。(例)1月から3月は多いが、6月から8月は少ない。

はい ( )

いいえ

Q10.現在加入している料金プランが、ご自身のライフスタイルに適していると思いますか。

思う 思わない わからない

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

## 第6学年1組 図画工作科学習指導案

日 時：令和元年11月15日（金）第6限

指導者：教諭・山田 忍（吹田市立吹田第六小学校）

場 所：6年1組教室

1 単元（題材）名 6 1 美術館を開こう 鑑賞（図画工作科）この絵、私はこう見る（国語科）

2 単元（題材）の目標

## 【主体的に学習に取り組む態度】

作品の良さや表現の意図、特徴などについて、感じ取ったり考えたりして自分の生活につなげようとする。

## 【知識・技能】

作品の動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを捉えることができる。

## 【思考力・判断力・表現力】

色や形、表現の意図や特徴などを捉え、話し合ったり文章に表したりしながら親しみのある美術作品のよさや美しさを感じ取っている。

## カリキュラムマネジメントを意識した学習計画による効果・ねらい

## ●理解したことをどのように表現するか（思考・判断・表現力）

- ・様々な角度（視点）からものを見ることができるようになる⇒自分目線ではない分析
- ・トライ&エラー（国語→図画工作）を繰り返すことで技能の定着を図る

3 指導に当たって

(1) 教材観

鑑賞の学習活動は、大きく3つに分けることができる。それは、①表現に埋め込まれた鑑賞（相互鑑賞、自己鑑賞）②表現と接続する鑑賞（表現から鑑賞、鑑賞から表現）、③独立した鑑賞（美術作品の鑑賞、生活の鑑賞）である。その中で今回扱うのは③独立した鑑賞の美術作品の鑑賞である。優れた絵画は、見る人を引き付ける魅力を持っており、自分なりの感じ方で何かを感じ、想像の世界を膨らませるきっかけとなると考える。鑑賞活動は、知識なども活用しながらさまざまな視点で思いを巡らせ、自分の中に新しい価値を生み出すことにつながる。

国語科の前単元で、児童は「鳥獣戯画」に対する筆者の者の見方や考え方を読み取る学習をしている。本教材では、その学習を生かし、自分の絵の見方や考えを文章で表現し、発信する。作品を分析する際には、自分なりの見方・考え方を働かせることにより、新鮮な気づき生まれ、驚きと感動をもつことができる。また、複数で取り組むことにより、より多様な角度から作品を分析することもできる。しかし、感じたことを表現する書く活動に関しては、何をどのように書いたらよいかわからなくなるという難しさもある。その際には教材文を活用することもできる。

(2) 児童観

省略

(3) 指導観

本単元は、前半を国語科、後半を図画工作科としてカリキュラムを編成する。前半は一枚の絵画「猿のいる熱帯の森」を自分の見方や感じ方が伝わるように工夫した文章を書く。後半は複数の絵画の中から自分で題材となる作品を選び、単元の前半で身に付けた資質能力を活用して自分の見方や感じ方が伝わるように工夫した文章を書く。単元を通してグループで学び「協同探求」や「対話型鑑賞」ということを意識していく。

単元前半は、大きく分けて次の三つの活動で構成する。①多様な角度からの作品分析②読み手を意識した表現の工夫と文章構成③他者の文章評価である。①多様な角度からの作品分析では、

グループで取り組むことと視点を増やすことでより広い角度から事実を捉えさせる。猿がいるという事実からなぜここに猿がいるのだろうかと言うような小さな問いを持た、それを切り口に意味づけをさせる。視点としては国語科の教科書に記載されている「何」「だれ」「ポーズ」「何を表しているか」などの視点だけでなく、図画工作科の鑑賞で取り扱われる「動き」「奥行き」「バランス」「色の鮮やか」という視点を加える。②相手意識を持って表現を工夫した文章構成では、一番伝えたい事を明確にし、文末の表現を工夫させる。③他者の文章評価では、他者と文章を読み合い、読み取ったこと（事実）と感じた事（感想）を言葉で伝えさせる。

単元後半は、前半で学んだことを別の作品で活かすことに取り組む。まず、身に付けたさまざまな鑑賞の視点をよりどころとしながら分析的に絵画と向き合う。描写されている事実の部分から絵画のどの点に何を感じ、どのように意味づけるのかを考える。次に、自らの感じ方やものの見方を言葉で記述する。その際には描かれている事実と自らの意味づけを解説的に表現する。随時単元前半の活動を振り返り、多様な角度からの見方や考え方を働かせた文章を書かせる。

指導者からは「なぜそう思うの？」と問わず、「どこからそう思うの?」「それからどう思うの?」という問いを投げ掛ける。そうすることで、事実（見えているところ）として描かれている部分と感想（みえていないところ）として感じた部分を読み取り、楽しみながら文章に表す（資質）能力を養いたい。また、鑑賞で培った見方や考え方を今後の制作活動に活かし、いろいろな角度からの分析、表現ができるようになってもらいたいと願う。

#### 4 単元（題材）の指導・評価計画（総時数8時間）

次	時	小単元名及び目標	主な学習活動	評価規準	評価の観点		
					主	知	思
一 (5) 国語	1	単元の見通しを持ち、シミュレーションをする。	<p>単元の目標や流れを理解し、取り組みたいことを持つ。</p> <p>○アンリ・ルソー「熱帯風のなかのトラ」を鑑賞し、描写されているものや感じたことを出し合い共有する。</p> <p>○見本の解説文を読み、分析する。</p> <p>○単元前半の目標、流れを確認する。</p> <p>○単元で挑戦したいことや身に付けたいこと、難しそうなことを話し合う。</p> <p>○単元で挑戦したいことや身に付けたいこと、難しそうなことを書き出す。</p>	【主】学習課題についてイメージをもって考えようとしている。	○		
	2	事実と感想を区別しながら分析する。	<p>絵画から読み取ったことや感じ取ったことを書き出す。</p> <p>○アンリ・ルソー「猿のいる熱帯の森」を鑑賞し、描写されているものや感じたことを出し合い共有する。</p> <p>○学習の流れを確認する。</p> <p>A 事実を出し切ってから意味づけする方法。</p> <p>B 一つの事実の意味づけを考え、それを繰り返す方法。</p> <p>○作品を分析する。 (個人→グループ→全体)</p>	【思】絵画に興味を持ち、着眼点や提示された観点をもとに、自分なりに問いを立て、絵から情報を読み取ることができる。			○
この絵、私はこう見る							



		○文章化する際に活用する付箋のみノートに書き残す。			
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>分析結果を整理し、文章の構成を考える。</li> <li>教科書にある例文を参考に表現を工夫して、文章に表す。</li> </ul>	<p>一番伝えたいことが伝わる構成を考え、表す。</p> <p>○学習の流れを確認する</p> <p>○一番伝えたいことを考え、構成を練る。</p> <p>(個人→グループ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>書く順番を考えさせる。</li> <li>事実をもとに意味付けさせる。</li> <li>グループで相談させる。</li> </ul> <p>○構成の下書きをノートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>話し合いを参考にさせる。</li> <li>順番やポイントなどを簡単に書かせる。</li> </ul>	【思】絵から感じたことの中から書きたいことを中心に決め、全体を見通して書く事柄を整理している。		○
4		<p>表現を工夫し、文章に表す。(言葉選びや文末の表現)</p> <p>○学習の流れを確認する</p> <p>○表現の工夫を考える。</p> <p>(個人→グループ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事実や意味づけの表現は見本の解説文や教科書の例示を参考にさせる。</li> </ul> <p>○解説文を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事実と感想を区別させる。</li> </ul>	【知】表現の効果を考えながら、文章の中で例文に示されている表現を使い解説文を書くことができる。		○
5	文章を読み合う。(書かれた事実と得た感想)	<p>他者の文章を読み、学びを整理する。</p> <p>○他者の文章を読み、事実と感想を伝え合う。</p> <p>○他者から得た学びや次回取り組み合い表現を確認する。</p>	【思】解説文を読み合い表現の良さに着目して、助言し合うことでものの見方や表現方法を広げている。		○
二 (3) 図 画 工 作	6	<p>事実と感想を区別しながら分析する。</p> <p>絵画から読みとったことや感じたことを書き出す。</p> <p>○単元後半の流れを確認する。</p> <p>○題材にする絵画を選ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童に好きな題材(静止画)を選ばせる。</li> </ul> <p>○作品を分析する。</p> <p>(個人)</p> <p>○アドバイスタイム</p>	【主】絵画に興味を持ち、着眼点や提示された観点をもち、自分なりに問いを立て、絵から情報を読み取るうとしている。		○

6 1 美術館 を開こう  鑑賞		(グループ) ・友達の作品の分析をする。 ○一番伝えたいことを整理し、構成の下書きをノートに書く。 ・グループで相談させる。 ・話し合いを参考にさせる。 ・順番やポイントなどを簡単に書かせる。			
	7 本時	分析結果を整理し、文章の構成を考え文章に表す。  ○学習の流れを確認する ○選んだ作品を改めて分析する。 ○表現と構成を考える。 ○グループで表現と構成の相談をする。 ○解説文を書く。	【知】表現の効果を考えながら、解説文を書くことができる。	○	
	8	文章を読み合い、学びを整理する。 (書かれた事実と得た感想)  他者の文章を読み、学びを整理する。 ○他者の文章を読み、事実と感想を伝え合う。 ○自分の選んだ作品の代表的な鑑賞文と自分の鑑賞文を読み比べる。 ○単元を通して学んだことの振り返りをする。	【思】解説文を読み合い表現の良さに着目して、助言し合うことでものの見方や表現方法を広げている。		○

## 6 本時の学習 (第二次第7時)

## (1) 小単元(題目等)名

6 1 美術館を開こう (鑑賞)

## (2) 本時のねらい

絵画から読み取ったことから表現を工夫し、文章に表すことができる。

## (3) 準備・資料等

鑑賞カード、PC、それぞれが題材に選んだ物、ワークシート、原稿用紙

## (4) 本時の展開

時間	学習活動	指導上の留意点	評価(観点, 方法等)
0	○学習の流れを確認する	・フローチャートを活用する。	
3	○選んだ作品を改めて分析する。	・視点を確認させる。 ・心の状態で見え方が変わるかもしれないことに気づかせ、前時の考えを再考させる。 ・新たな視点も考えさせる。 ・PCを活用し、アップ、ルーズができるようにしておく。	

18	<p>○表現と構成を考える。</p> <p>○グループで表現と構成の相談をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清書ではないことを伝え、キーワード化させる。</li> <li>・一番伝えたいことが伝わる構成にすることを想起させる。(順番)</li> <li>・考えた表現や構成に対するアドバイスをメモしながら聞かせる。</li> <li>・考えられなかった表現や構成についてもアイデアをもらうようにさせる。</li> </ul>	
28	<p>○解説文を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合ったことを活かしながら書かせる。</li> <li>・一番伝えたいことが伝わる構成を意識させる。</li> <li>・必要であればグループで相談することも認める。</li> </ul>	<p>表現の効果を考えながら、解説文を書くことができる。</p> <p>(知技、プリント)</p>

## (4) ルーブリック

A (+B)	B	支援
<ul style="list-style-type: none"> <li>・色や形、動き、方向など複数の視点で作品を分析することができる。</li> <li>・話し合いをもとに、自分の考えを組み立て、文字だけで伝わる表現をすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品に描かれている事実と感想につながりがある。</li> <li>・作品の特徴を捉えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視点(色、形、季節、場所など)をもとに自分の考えを持たせる。</li> <li>・作品について話したり聞いたりさせる。</li> </ul>